

# すみかわ

## 学校教育目標

『人間性豊かな子どもを育てる』

- ◇自ら学ぶ創造的な態度をもつ子ども
- ◇豊かな心を持ち、人と協力できる子ども
- ◇健康な体を持ち、最後までやりぬく子ども

TEL 67-3131 Eメール sumikawa-es6@city.tomakomai.hokkaido.jp  
 第 8号 平成28年11月25日発行

## よりよい教育活動を目指して

校長 南 一 也

あと一ヶ月ほどで冬休みが始まります。この時期になると、例年どこの学校でも学校評価と呼ばれる教員・児童・保護者からのアンケート等による今年1年間の教育活動の反省が行なわれます。この反省をもとに来年度の学校経営や教育活動に反映させていく大切な取組です。先日発行（11月11日付）した「校長便り TAKE OFF」でも述べましたが、これからの社会がどう変化していくか先行きが不透明な時代を子ども達がたくましく生きていくために、新しい授業方法の導入など教育活動全般にわたり学校改善を積極的に推進していかなければならない教育の流れになっています。

学校改善という表現をしましたが、私は「学校改革」という言い方が的確のような気がします。「改革」になると、今まではこうだったというような思いを大切にしている人たちには、大きな反動・反発が伴うかもしれません。もちろん「不易」（時代が変わっても普遍的な大切なこと）なことも大切にしなければなりません。これからの激動する予測不能な時代を生き抜いていく子ども達のために、どのような教育活動をしていかなければならないか、新たな一歩を踏み出すために現状をどのように改めていくか強い意志を持ちながら真剣に考えなければならない時期になっていると私は思います。



そのためにも、保護者・児童アンケート・職員評価などの学校評価の結果を丁寧に分析して、これからの澄川小学校の教育活動の方向性を考えていきたいと思っておりますので、ご協力とご理解のほど宜しくお願いします。

### ※広辞苑参照「改善」と「改革」の違いについて

「改善」というのは、「悪いところを改めてよくすること」であり現状を肯定しつつ出来るだけ悪いところは手直ししていくこと。また、「改革」は「改め変えること」で組織や活動など根本的な課題と向き合い変えていくこと。

# 12月 の予定



- |                                 |                       |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1日（木）登校指導（教員）<br>参観日（低）眼科検診（2次） | 19日（月）人権教室（4年）        |
| 2日（金）陶芸教室（5年）                   | 21日（水）給食終了<br>大掃除     |
| 5日（月）児童会                        | 22日（木）終業式<br>上靴クリーンデー |
| 6日（火）租税教室（6年）                   | 23日（金）天皇誕生日           |
| 7日（水）苦教研S<br>認知症キッズサポーター（5年）    | 26日（月）冬休み学習会          |
| 9日（金）登校指導（P）                    | 27日（火）冬休み学習会          |
| 15日（木）パワーアップタイム                 |                       |
| 16日（金）クリスマス会参観日（つくし）            |                       |

**冬休み 12月23日～1月16日**

**市民文化祭書道展入賞者** 10月29、30日におこなわれました市民文化祭小中学生書道展の入賞者の皆さんです。おめでとうございます。

- |             |                     |                    |                    |
|-------------|---------------------|--------------------|--------------------|
| 3年生特選<br>金賞 | 柴田 実結さん<br>横山 雪恵さん  | 山本 怜奈さん<br>坂田 夢姫さん | 野口 桃花さん<br>伊藤 あいさん |
| 4年生特選<br>金賞 | 湯山 綺羅さん<br>稲部 緋真さん  | 近田 美来さん<br>壽崎 遥香さん |                    |
| 5年生特選<br>金賞 | 西川 暖華さん<br>佐藤 悠基さん  | 田辺 妃桜さん<br>宮澤 音羽さん | 丸山みさとさん 林 晏輝さん     |
| 6年生特選<br>金賞 | 阿部 妃依さん<br>三小田 芽以さん | 藤平 ももさん<br>工藤 優花さん | 柴田 日和さん 沖田 有沙さん    |



### 4月に行われました全国学力・学習状況調査（6年生）の澄川小の結果をお知らせします。

- 算数Aにおいては、平均正答率が全国平均を上回っている。国語A・B、算数Bにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- 各設問毎では、以下のような課題がみられた。
  - ・国語Aでは、「ローマ字を書く（促音）」問題において平均正答率が全国平均を上回っていたが、その他の「ローマ字を書く、読む」問題での誤答が多く、無回答も多い。
  - ・国語Bでは、適切に文中の語句を使えなかったり、文字数の条件に合っていなかったりするため、記述問題での誤答が多い。
  - ・算数Aでは、1を超える百分率で表わす問題での誤答が多い。
  - ・算数Bでは、数値が何を表わすかなどがきちんと理解できていないことにより、理由、解釈、説明の記述問題の誤答が多い。
- 児童質問紙では、
  - ・「国語の授業でうまく伝わるように組み立てを工夫している」「先生が間違えたところ、理解していないところを分かるまで教えている」「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で宿題をしている」と答えた児童の割合が全国平均より高い傾向にある。
  - ・テレビやテレビゲームを長時間する児童の割合が全国平均より高い傾向にある。
  - ・地域の行事に参加する児童の割合が全国平均より低い傾向にある。

学校としておこなった放課後サポートや長期休業中の補講の取組、6学年の授業改善や家庭学習での取組が効果があったと考えます。今後は結果をもとに、さらに学力向上に取り組んでいきます。